

令和元年度 門川町立門川小学校 自己評価書

学校の教育目標「自ら学び 心豊かに たくましく生きる 子どもの育成」

重点目標〔 1 基礎学力の定着 2 基本的な学習習慣の定着 3 読書活動の推進 4 基本的な生活習慣の定着 5 学校・家庭・地域が連携した教育の推進 〕

〔 4段階評価： 4～期待以上 3～ほぼ期待通り 2～やや期待を下回る 1～改善を要する 〕

重点目標	目標達成のための手段(評価指標)	具体的な取組・手立て	数値目標等		分析・考察・改善策等	
			評価指標	総合		
1 基礎学力の定着	(1) 分かる・できる授業の充実	① 特別支援教育の視点を取り入れた学習環境や授業づくりの推進 ----- ② 「かどがわ5段階授業モデル」の確実な実施	* CRT (標準学力検査) ・平均得点率の全国平均との差(点) [目標値]国語+1以上・算数+1以上 R1: 国語○2.2・算数○3.5 (H30:国-2.2・算1.0) ・評定1出現率(%) [目標値]国語18.0%以下・算数14.0%以下 R1: 国語○11.0%・算数○13.2% (H30:国18.8%・算14.3%)	3	○ 今年度の校内研究は、「かどがわ5段階授業モデル」の確実な実践を通しての学力向上に取り組んできた。その結果、CRTでは国語・算数共に前年度の数値さらに全国平均を上回った。特に本校の課題であった国語が大きく伸びた。また下位層の割合も昨年度よりは減少した。 ○ 基礎基本的な学力は徐々に伸びてきているが、文章読解力や表現力、思考力はまだまだ課題があり、今後も授業の工夫を図るなどの手立てをとりながら、より一層、学力向上への取組に尽力していく。 ○ 授業における学習態度指導の徹底及び家庭学習の習慣化と内容の充実についてはまだ十分とは言えず、次年度は対応を検討し、向上を図っていききたい。	
	(2) 学習内容の定着を図るための補充指導の充実	① 「パワーアップタイム」における補充指導の充実 ----- ② 学期末補充学習・「サマースクール」の充実	◇ パワーアップタイムにおける複数の教員による指導 進級式算数の問題の整備 ----- ◇ 1学級における複数の教員による指導	3		
2 基本的な学習習慣の定着	(3) 基本的な学習習慣の定着	① 授業における学習態度指導の徹底(聞く態度、姿勢、学習の準備)	* 児童自己評価「ほぼ毎時間しっかり聞いている」 [目標値]95%以上 → R1: △93.7% (H30: 94.8%)	2		
		② 家庭学習の習慣化と内容の充実	* 児童自己評価「宿題・宅習：ほぼ毎日提出している」 [目標値]95%以上 → R1: △92.5% (H30: 94.5%)			
3 読書活動の推進	(4) 読書活動の推進	① 学校における読書活動の充実 ----- ② 家庭における読書の推進	* 1か月の読書冊数[目標値]35冊以上 R1: ○45.0冊 (H30: 33.8冊) * 1年間の年間貸出冊数[目標値]35冊以上 R1: ○45.0冊 (H30: 34.2冊)	3	3	○ 図書委員会等の啓発活動により読書量の向上が見られた。次年度もさらに読書の取組の啓発を図っていききたい。
4 基本的な生活習慣の定着	(5) 学校における基本的な生活習慣の定着	① 率先あいさつ・廊下歩行・整とん・無言清掃の指導の徹底	* 児童自己評価「ほぼしっかりとやっている」[目標値]85%以上 ・あいさつ: ○88.3%・ろう下歩行: △84.6% ・無言清掃: ○88.3%・整とん(くつ箱): ○94.4% ・整とん(トイレスリッパ): △82.0%	2	2	○ 児童の意識は向上してきているが、まだ十分な状態ではない。自ら率先して取組ができるよう、さらに日常指導を徹底していく。 ○ 「子どもの成長を支え育む“かどがわ4か条”」ポスター配付や学校保健委員会・家庭教育学級での講話等で、メディアコントロールについて家庭への啓発を図った。 ○ 今年度本校が事務局だった町PTA研修大会に、多くの保護者が協力してくれた。 ○ ラジオ体操は児童だけでなく、保護者の協力をPTAと連携して啓発していききたい。
	(6) 家庭における基本的な生活習慣の定着	① 家庭との連携による取組の推進 メディアコントロール・睡眠時間の確保(眠起・早寝)・望ましい食生活習慣(偏食)	◇ 町PTA研修大会の参加(今年度60名参加) ◇ 「教育の絆」表彰…本校保護者(読書推進) ◇ 保健日より・参観日等での啓発 ◇ 生活リズムカードの配付・回収			
5 学校・家庭・地域が連携した教育の推進	(7) 家庭における共通実践事項の取組の推進	① 家庭における共通実践事項の取組の推進～子どもの成長を支え育む“かどがわ4か条”～ ----- ② PTA活動のとの連携による取組の推進(ラジオ体操の推進、家庭教育学級の開催等)	* 家庭における共通実践事項の家庭自己評価 ・メディアに関する約束の設定「設定している」 [目標値]全校80%以上 → △70.1% (H30: 69.3%) ・家読の時間の設定「設定(週3～月1)している」 [目標値]全校60%以上 → △56.3% (H30: 71.4%) ◇ 各地区ラジオ体操参加率(前年度比: 1日平均-6名) ◇ 家庭教育学級(年間9回開催)参加率53%	2	2	
校長所見	本年度も昨年度の反省を生かしながら、児童の学力向上や基本的な生活習慣の向上などに努めた。今年度は「かどがわ5段階授業モデル」の確実な実践に力を入れ、CRT(標準学力検査)では、国語・算数ともに全国平均を上回った。今後も毎日の授業にしっかりと取り組み、さらなる学力向上を図りたい。読書については学校の読書量は向上したが、家庭での読書量は低下しており、メディアコントロールとともに家庭の協力を図っていく必要がある。学校における基本的な生活習慣は徐々に定着してきているが、児童が自主的・主体的に取り組む意識をさらに高めていきたい。					

